

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		並木テラス				公表日	令和8年3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	児童の年齢やその日の活動によって活動する部屋を分ける時もある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	事業所が2階のため、階段に手すりなどあるが、危険がないよう気を付けている。 建物の構造上、階段があるため子どもと一緒に職員が安全確認をしている。 階段はありますが、手すりがついておりトイシも広がっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々の清掃はもちろんの事、年末年始は業者の人に入っていたいで掃除をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	相談室・クールダウンができる部屋も用意してある。 休憩室あり クールダウンできる部屋、休息する場所を子どもにも伝えている。 職員の把握のもと、個別の部屋の使用が可能である。 木育・相談室・活動室がうまく機能していると思います。 活動室・木育の部屋・相談室と分かれており、それぞれの遊びや学習状況などによって使い分けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		子どもと関わる職員全員（パート職員含む）で行えると良い。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者会での意見交換や情報共有を年三回行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	職員面談、労使協定が行われている。 月2回職員会を実施している。	事業所内で個別相談の場を作ってもらい業務改善につなげてほしい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2		現在は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月一回心理士の先生をお招きして勉強会を行っている。 月一回の研修会あり。 研修への積極的に参加や法人内でも事例検討など研修の機会がある。 月に一度、法人内で研修会が開催される他、外部の研修会の参加も確保されている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者のニーズになりすぎない様、児童との関わりの中から思いを聞いて計画に入れている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	2	計画案作成前に職員間で話し合いを行っている。	いろんな職員の視点で意見を出し合い検討ができるが良い。 共通理解できていないことがあり、児童に対した時、困ることがある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1			

	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	翌週のプログラムを職員間で話し合っ作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	季節の製作、行事や子どもの「やりたい」という気持ちを大切にしている。児童の気持ち、やりたい事を聞き、可能な範囲で活動・企画等を考えている。	季節の行事や企画を取り入れているが、同じ計画になってしまう時がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1		パート職員を含めての打合せ時間の確保が難しい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	活動の振り返りや子どもの様子が気になったこと等小さなことでも共有している。活動記録記入時に職員間で話し、共有している。その日の出来事はできるだけ、その日のうちにチーム内で情報共有している。	支援の振り返りを全員で行えていないため、申し送り表などあると良いのか。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	他職員の記入した記録にも目を通すことで共通理解ができるようにしている。一人ひとりの活動記録を日々記入している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	相談支援専門員の方と情報共有をこまめに行い、3.4か月に一度モニタリングを行っている。一学期に一度はモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	日々の活動や行事企画など子どもが選択決定できる様、支援している。集団活動や製作の活動の際には児童自ら決められるよう支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	事業所管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	子どもに合わせた下校時間の調整やその日の様子など情報交換している。送迎の際や支援会議などで学校との情報共有ができています。よくできていると思います。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	児童発達支援センターとの情報共有を行っている。保育所、幼稚園との共有はなかなかないが、児童発達支援事業所との情報共有や訪問・見学はさせてもらっています。	年齢的に対象児なし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4		年齢的に対象児なし これまでの実績はなく、今後移行の形があれば情報提供などしていく。 並木テラスでは該当児童がいないが、法人内の他事業所では実践している。

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	事例検討をして助言いただいたことを日々の支援の中で実践している。 こども発達センター主催の研修会・勉強会にも参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	法人内で取り組んでいる子ども食堂開催の際、地域の子も達と交流を行っている。 法人内で新しく就労部門が立ち上がり、月に一度こども食堂が開催されているので事業所の児童も一緒に交流している。 並木テラス一階でのこども食堂や人形劇で地域の子との活動をしている。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	各部会に事業所から一人ずつ程度参加し、職員会で参加した職員から報告してもらっている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時等、その日の様子や必ず会話することを心がけている。 送迎時や連絡帳を通し、日常的に保護者と情報交換を行っている。 連絡帳・電話などを使ってよく伝えあっている。 日々の連絡帳でのやり取りや送迎の際、話をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	ペアレントトレーニングを法人が開催している。 毎年、法人主催のペアレントトレーニングを職員、保護者と参加している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	保護者の方より、相談や希望があった際は面談の機会を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会を開催し、保護者同士での交流する場を設けている。 保護者会の日、保護者同士での交流ができるよう時間を作っている。 保護者会の後、保護者同士で交流をする時間を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	児発管が窓口となり対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	りんご通信で情報を発信している。 法人の通信「りんご通信」を配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報外部に出ないように気を付けて業務に励んでいる。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	絵カードや50音表など言葉以外のコミュニケーションも取っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	年三回、学期ごと必ず避難訓練を行っている。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	家庭の調べも年一回見直しつつ、モニタリングの際に服薬状況も確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	調理企画などアレルギー児に十分気を付け対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	事業所・法人内で再発防止のため検討する機会がある。 職員会にて共有している。 何かあった時にはすぐにヒヤリハットを作成し職員会で報告再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	月に一度、虐待防止・身体拘束適正化委員会を実施している。 職員会后、虐待防止・身体拘束適正化委員会を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	やむを得ず必要な児童に対しては保護者へ説明している。	